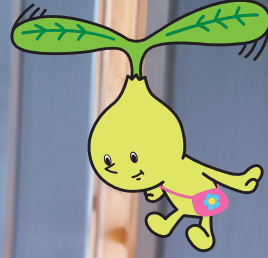


広報 ㊦  
No.697  
令和4年

# いいたて

3  
2022

## 飯舘村 地域おこし 協力隊



the most beautiful  
villages  
in japan

飯舘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)



目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「地域おこし協力隊！」
- 4 特集「第6次総合振興計画」
- 10 報告「福島医大と包括連携協定」
- 12 飯館百景「春よ、来い」
- 14 ほけんとふくし「転倒予防」ほか
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／までの食卓
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人

今月の話題  
vol.22

飯館村地域おこし協力隊！

飯館村に移住してそれぞれの活動にまい進中

ふるさとに  
新しい彩りを

「地域おこし協力隊」は、地方に移住をして様々な地域活動に協力してもらおうと総務省が設けた制度で、地方自治体が募集し任命しています。飯館村で最初に協力隊となった松本奈々さん(深谷)は、3月末に3年間の任期を満了。以降は、自ら立ち上げた会社で旧コメリの建物の活用を続けます。二瓶麻美さん(草野)はこだわりのクラフト市「山の向こうから」4回目の開催に向けて準備中。キャンドル作家の

大槻美友さん(草野)は上飯樋の工房で制作を進め各地で活動を発信しています。松尾洋輝さん(大久保・外内)は旧コメリ内にオープン予定のカフェに協力している他、動画での発信を続けています。そして、新たに5人目の協力隊として、ラペアートを得意とする横山梨沙さんが活動をスタートします。協力隊への応援とあたたかな交流を、これからもよろしくお願ひします。



横山梨沙  
Risa Yokoyama

福島市出身。  
2月から5人目の  
協力隊に!

DIY  
イベント



地図づくり  
の旅



松本奈々  
Matsumoto Nana



空間創造  
プロジェクト

YouTube  
動画を発信



松尾洋輝  
Matsuo Hiroki

ワンデイ  
カフェ



村を知る  
交流と発信



ボタニカル  
キャンドル



ワーク  
ショップ



大槻美友  
Otsuki Miyu



古民家を  
アトリエに

ワーク  
ショップ



こだわりの  
クラフト市



二瓶麻美  
Nihei Asami



今月の表紙  
村に住み、豊かな発想力で活動を展開している「飯館村地域おこし協力隊」の皆さん。横山梨沙さんが2月から仲間に加わりました。また、松本奈々さんが任期満了で3月末に卒業します。協力隊の皆さんに集まっていただき、5人の写真を撮影しました。





全84ページの計画書



全戸配付したダイジェスト版

◀ 飯舘村ホームページで読むことができます

誰もが担い手の村づくり! 6次総について改めてお知らせします

令和3年度から7年度まで5年間の指針

# 飯舘村第6次総合振興計画

## 総合振興計画とは何でしょう?

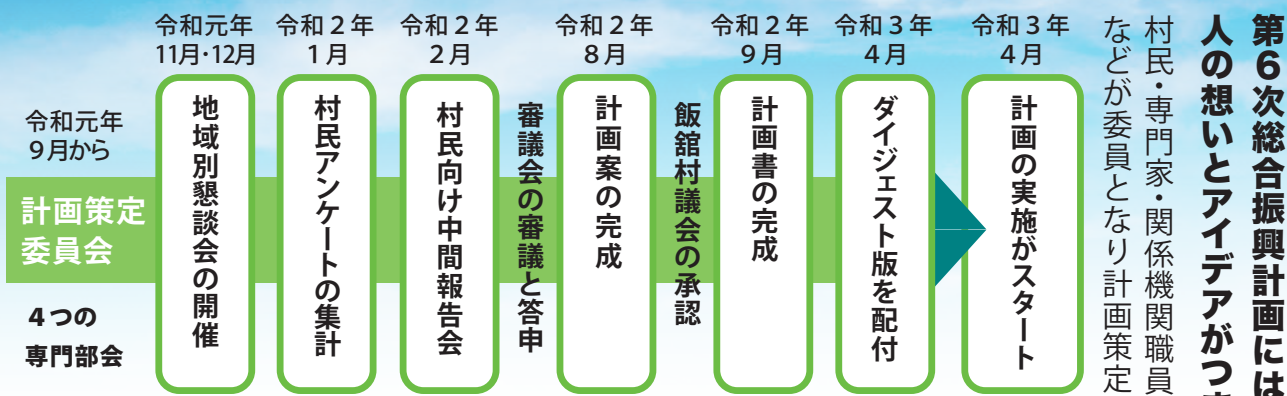
国内の大部分の地方自治体は、「総合計画」を策定して行政運営を行っています。飯舘村の総合振興計画は、本村の村づくりにおいて最上位に位置付けられる計画で、福祉・産業・教育・防災といった全ての計画の基本となっています。

## 飯舘村の総合振興計画

飯舘村の総合振興計画は、「5次総」「6次総」のように省略して呼ばれます。これまでの総合振興計画も、策定から実行まで、多くの村民の皆さんが関わり、進められてきました。

東日本大震災で5次総が中断された際には、全村避難の中、多くの人の協力をいただき、「いたてまでいな復興計画」を策定。様々な復興事業を展開しています。

大震災から10年が経過するにあたり、新しい村づくりを進めるために策定したのが「6次総」、第6次総合振興計画です。



\*4つの専門部会ではこんなテーマを話し合いました\*

<b>健康・福祉・環境部会</b> 健康 医療 スローフード 交流 移動 暮らし 介護サービス 子育て支援 環境 ごみ処理・資源環境 ペット 村内のバリアフリー	<b>産業・観光・移住部会</b> 農業の活性化 商業の活性化 工業の活性化 雇用 食 観光 景観 移動 移住定住 生活利便施設 地域コミュニティ 関係人口の拡大	<b>教育・文化部会</b> 学びの特色と発信 学習と通学の関係 子どもの現状 飯舘らしさ 社会教育 文化・芸能 大人の交流 人材 施設 スポーツ 読書 ICTやSNSの活用	<b>防災・建設・行財政部会</b> 安心・安全 消防対策 防災対策 足の確保 生活利便性 住環境 景観整備 村の自立 移住・定住の促進 広域的な連携 行政区地区別計画 行政サービス
--	---	---	---

各時代の村民がつないできた総合計画のリレー。本村の村づくりの軌跡です。

総合計画のこれまでの歩み

昭和31年(1956年)	飯舘村が誕生(大館村と飯舘村が合併)
昭和43年(1968年)	村勢振興計画
昭和52年(1977年)	飯舘村総合計画
昭和60年(1985年)	飯舘村第3次総合振興計画
平成6年(1994年)	飯舘村第4次総合振興計画
平成16年(2004年)	飯舘村第5次総合振興計画
平成23年(2011年)	いたてまでいな復興計画(第5版まで改訂)
令和3年(2021年)	飯舘村第6次総合振興計画

計画の年は実施開始年



# 飯館村第6次総合振興計画 基本的な考え方

飯館村第6次総合振興計画は、様々な暮らし方、関わり方がある飯館村で、多様性を認め合いながら、関係人口や定住希望者が増えていく安心して暮らせる村をつくっていくという基本的な考え方のもと、「4つのめざす姿」を掲げています。



ダイジェスト版は令和3年4月に全戸配付されました

「持続可能な地域を残していくということは、親から子へふるさとを語り継ぎバトンを渡していく物語のようなもの」という策定委員の話をもとに、ダイジェスト版は「飯館これからのものがたり」というタイトルになっています。

## いいたてに生きる 精神文化を紡ぎ 自らに誇りを持つ村へ

竹のようにしなやかに 石のようにどっしりと 自らに誇りを持つ教育

学校教育

ふるさとをみつめ ふるさに学び ふるさとと歩む教育

社会教育

いいたてを誇り いいたてを喰(は)み いいたてと過ごす文化

文化



ふるさとを改めて見つめ直す教育を通じて、子どもも大人もともにいいたての文化を取り戻し、自らに誇りを持つ村を目指します。

### 4つのめざす姿

## ゆったり流れる時間の中で 「元気かい？」から始まる 心地いい関係のある村へ



温かな声かけから始める交流を通じて、生きがいを持って健やかに暮らすことのできる村を目指します。

健康

食べて笑って 楽しい健康づくり

福祉

「出番」を作る しかけづくり

環境

未来や心にやさしい 環境づくり

## 足もとからの 将来づくりを 「支え合い」で進める村へ

自分たちの安全は 自分たちで守る 強靱な地域防災

防災

助け合いで築く 誰もが安心できる暮らし

建設

連携して課題に立ち向かえる 自立した地域

行財政



これまで村を支えてきた行政区の活動など、足もとの生活基盤やつながりを再び強め、支え合いで進める村を目指します。

## どこに暮らしていても 参加して楽しい 新しい豊かさを感じる村へ



村に想いを寄せる方々との新しい関わり合いや村民の新しい暮らしを尊重し、新しい豊かさを感じる産業を作り出す村を目指します。

産業

一人ひとりの関わり合いで力を合わせ拡大させるまでいブランド

観光

資源にひと手間加えて築く観光以上移住未満の関係

移住

モノや心を分かち合い ふんわりやっこく迎える村



# 飯館村第6次総合振興計画 令和3年度"はじめての一步"

一つひとつの取り組みを大切に育てていきます

6次総は令和3年度から5年間の計画。話し合いの中で生まれたアイデア事業もたくさん盛り込まれています。コロナ禍でのスタートとなりましたが、取り組みはできることから一歩一歩始まっています。全ては掲載しきれませんが、キーワードと共にピックアップして事業を紹介します。

〈 時を満喫・人生もっと楽しく講座 〉



生涯学習講座



農業体験講座



買い物支援



スポーツ交流



買い物バス

## 暮らし



いいたてパークゴルフ場



村外のサロンを支援



起業支援

## 地域

地域みがきあげ計画の推進  
5年後の目標を行政区ごとに検討  
みがきあげよう!ふるさと補助金  
新コミュニティ担当103名に



わくわく推進協議会

わくわくのアイデアを実現へ



畜産農家の活躍

「飯館牛」復活への取り組み  
福島大学の実証に協力  
食品会社で商品開発中 ※P17参照

## 産業



あぶくまもち 特産化への挑戦  
村民の皆さんによる加工品の試作



水田利活用の推進

生きがい農業ステップアップ事業



企業誘致の用地確保



福島県産の野菜  
販路の新規開発



ふるさと納税  
返礼品の開発・募集



農地管理や活用支援

13区営農組合

## 観光交流

観光施設整備への支援  
村外からの応援・協力の促進



旧コメリの活用へ



あいの沢の利活用へ

## 発信



行こう、いいたて。

地域おこし協力隊のSNS発信

## 移住定住



移住者懇談会



防災センター開設

## 防災

ハザードマップ配付



防災体制の強化



防火訪問



県の原子力防災訓練に参加

## 教育



1人1台のタブレット端末を活用

食文化の継承

「いいたて学」  
村民の協力のもと



〈 いい本、たまには、てにする運動 〉  
「飯館村子ども読書推進計画」策定中

誰もが担い手になれる6次総  
アイデアの実現へ 皆様のご参加を!





2会場を結んで協定締結後の記念撮影。村役場で撮影に臨む(左から)杉岡村長、石井秀徳健康福祉課長、佐々木裕行施設長

## 福島県立医科大学と包括連携協定を締結

### いいたてホームを学生達の実習先に

2月14日、『飯舘村と公立大学法人福島県立医科大学との包括連携協定締結式』がオンラインで行われました。この協定は、

村民の健康福祉に関する取り組みを推進していくことを目的とし、実習場所や村への移動手段の提供などを通して、福島県立医科大学の医療人材育成に協力するものです。

令和3年4月に開設された福島県立医科大学保健科学部作業療法学科は、福島県が経験した複合災害(地震・原発事故)をこれからの医療現場に活かしていくため、「地域医療・災害医療から学ぶ」ことを方針としています。

学生への講義の二環として、村の震災当時の状況を学び、主に高齢者を対象とした作業療法関連の取り組みを行います。そこで村は、「いいたてホーム」を実習場所として提供することとなりました。

年間13回、学生及び教員が「いいたてホーム」を訪問し、認知機能や生活機能改善に取り組み他、村内での介護予防教室、レクリエーションなどの実習を行います。今回の連携協定を機に、若者が村を訪れることにより様々な交流が生まれることが期待されます。

福島県立医科大学の竹之下誠一理事長は「飯舘村の復興に関与できることは、学生にとって貴重な経験となる」と述べ、杉岡村長は、「高齢者の健康維持・増進を最優先に、さらに賑わいの創出や、村民との交流の輪が広がることなどにも大いに期待している」と述べ協定締結への感謝を伝えました。

### 締結式のごあいさつから

福島県立医科大学  
保健科学部作業療法学科  
五百川和明 学科長

来年度から、2年生が実習先として「いいたてホーム」を訪問させていただきます。同施設は、東日本大震災と原子力発電所事故の被災地となりながらも、施設から避難せず運営を続けました。その貴重な経

験、教訓の承継の機会にもなると考えています。

また、介護予防教室の他、様々な場面において学生を受け入れていただき、調査・研究にもご協力をいただく中で、健康づくり、地域づくりの面でも連携していきたいと考えております。飯舘村からは学生の移動についてもご配慮を賜り心より感謝申し上げます。

杉岡誠 飯舘村長

東日本大震災及び全村避難以降、従前に増して村民に寄り添ったご対応をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

村も介護予防教室、健康体操やレクリエーション活動などを通して、高齢者の健康維持・増進に努めているところです。

が、そうした取り組みへもご協力いただけること、大変心強く思っております。また、学生の皆様が村を訪れてくださることから、賑わいの創出や、交流の輪が広がることなどにも大いに期待しています。医療人材育成の取り組みに協力してまいりますので、知見を生かしたご支援、連携強化に、お力添えをお願いいたします。



「いいたて福祉会」が運営する特別養護老人ホーム「いいたてホーム」は、家庭的な雰囲気での介護に取り組んでいます。一人ひとりの個性や生活リズムを大切に、職員・ボランティアが家族となって、入居者の「普通の暮らし」と「穏やかな笑顔」、そして尊厳を守っています。

### 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」



# 飯舘 百景

春よ、来い



多田直正さん(宮内)の庭に咲いた福寿草。開花後に雪に埋もれても花を閉じてじっと耐え、再び花を開きたくましさがあります。陽の光を想起させる鮮やかな黄色と可憐なフォルムは、春を迎える喜びを宿しているかのようです。



丘の上に向かって続く仲良しウサギの足跡



冷え込んだ朝、雪をまとった枝と青空が共演



植物もそれぞれ準備万端で春を待っています

一度は緩んだ寒さが再び強まり、2月後半の飯舘村は、大変寒い日が続きました。県内だけではありません。日本の上空に寒波が居座り、北海道から北陸にかけて、各地で記録的な大雪となりました。

立春を過ぎ、村内で春の兆しを見つけようとしていた矢先に、景色は真冬に逆戻り。ふくらみかけた木々の花芽も、寒風にじっと耐える日が続きました。

賑やかに咲き始めた福

寿草の群生も、雪の日が続いて、一旦は見渡す限りの雪野原に閉じ込められてしまいました。

福寿草は、キンポウゲ科の多年草。光や温度に敏感で、陽がかげると花がしぼみ、陽がさすと再び開くことを繰り返すそうです。鮮やかな黄色と張りのある質感はパツと明るく、冬枯れの野に映えます。「福」「寿」とめでたい漢字を連ねた縁起のよい名前からも人気が高く、年末には正月用の鉢花が店頭に並ぶそうです。旧暦の正月の頃に咲くことから、「元日草」の別名があり、新年の季語にもなっています。

寒波が去り、福寿草が雪の中から現れました。待ち遠しい春が、すぐそこまで来ています。寒さを耐えた分だけ、身に染みてうれしい春の到来になるのではないのでしょうか。



飯館村職員1名の陽性確認と2月2日の公表について

飯館村長 杉岡 誠

去る2月1日に、1月22日から自宅待機をさせていた飯館村役場職員1名の陽性を確認し、翌2日に報道および村ホームページにて公表致しました。また、職員の行動履歴から村民来庁者・他の職員と接触しておらず、職場内に濃厚接触者がいないこと、来庁者への感染拡大がないことを確認しましたので、消毒作業をしたうえで役場業務を継続しております。

今後とも村民福祉向上のための業務を停滞させないように、職員の感染防止対策を徹底して参りますので、ご理解の程お願いいたします。

なおこれまで、新型コロナウイルス感染症に関する情報は、お知らせ版や同封チラシのほか、緊急のお知らせについては全戸郵送し、あわせて村ホームページにも掲載しております。

インターネット利用に不慣れた方には申し訳ありませんが、現状

では最も早く情報公開できる手法として村ホームページを活用令和2年12月から今年2月までの15か月間で計17回の村長メッセージのほか、健康福祉課からのお知らせを掲載)していますので、是非ご確認いただきたいと思ひます。

新型コロナウイルス感染症の国内感染拡大から足かけ3年目を迎えましたが、2月23日からは「いちばん館」で3回目ワクチンの「村内集団接種」を始めるなど、さらに村民の皆さまの命と生活を守る取り組みを進めていきます。

村民の皆さまにおかれましても、粘り強く「マスク着用、こまめな手洗い、こまめな換気、人との間隔の確保、症状が出たら早めに相談・受診」などの感染症対策を継続いただきますよう、あらためてお願いいたします。

村ホームページ新型コロナウイルス感染症特設サイト



転倒を予防するために、みんなで運動しましょう

転倒を予防することは、骨折の予防につながり、歩ける身体機能を維持するためにも重要です。



● 身体を動かそう!

年齢と共に筋肉は減少し、筋力が低下すると活動量も低下してしまいます。また、活動量の低下がさらなる筋力低下を招き、悪循環に陥ります。

転倒予防として、筋力やバランス能力の維持・向上への取り組みがあります。厚生労働省の「健康づくりのための身体活動指針」では、65歳以上の方は1日40分、身体を動かすことが推奨されています。

● 「誰かと一緒に」で効果アップ

体力づくりのために運動への取り組みは大切ですが、1人で運動するよりも、グループに参加して誰かと一緒に運動の方がより大きな効果が得られることが研究で分かっています。その理由としては、「楽しみや満足感が高まり活動時間、運動の強度が増すこと」「転倒予防に関する情報交換が行われること」などが考えられます。(出典:グループ運動に参加する高齢者と、1人で運動を行う高齢者の転倒歴の違い)

● 百歳体操もおすすめ

村では、地域サロンでの百歳体操を行っています。百歳体操は、高齢の方でも無理なく実施できる体操です。運動への取り組みは、無理なく楽しく継続できる強度にすると良いでしょう。適切な感染対策を講じながら、ぜひご友人と一緒に、楽しく運動を行いましょ。

いきいき百歳体操

「いきいき百歳体操」は、平成14年に高知市が開発した、筋力向上のための体操です。イスに座り、DVDの映像に合わせてゆっくり体を動かす体操ですので、高齢の方でも無理なく取り組みます。ご家庭でも効果的にできるよう、広報いいさて令和3年3月号に百歳体操のコツを紹介しています。ぜひ参考にしてください。



令和3年11月、草野行政区地域サロンの百歳体操の様子

体温測定、マスク着用、手指消毒などの基本的な感染対策を行いましょ!



お伝えします 体操のコツ

あなたも私も 筋力アップ!

自粛生活で 体がなまっていますか?

広報いいさて令和3年3月号P14には「体操のコツ」を掲載しています。下のQRコード▼から見られます。



新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を進めています

村内での接種は「いちばん館」が会場です

■ 村内での集団接種について

2月23日から、「いちばん館」で集団接種を開始しました。意向調査で村内の集団接種を希望された方には、2回目接種日が早い方から、接種日時の案内を順次送付しています。2回目接種を完了した方で意向調査が届いていない方は健康係までご連絡ください。

■ 村外での接種について

村外での接種を希望される方にも、接種券等を順次送付しておりますので、ご確認ください。

■ 1・2回目の接種を受ける方について

これから1回目・2回目のワクチン接種を受ける方は、新しい予診票を配付しますので、事前に健康係までご連絡ください。



いちばん館内に設置された接種会場の様子

問 健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637



## 大学生が村での活動を報告 福大食農実践演習オンライン報告会



オンラインでの報告会。学生からの報告に真剣に耳を傾ける杉岡村長(左)と三瓶真産業振興課長

2月17日、福島大学食農学類の報告会がオンラインで行われました。同学類は各自治体と連携協定を結び実習などを通して地域の農業振興に協力しています。報告会では、飯館村をフィールドに活動している3年生を中心に、昨年度の活動から導いた3つのテーマ「人を呼ぶ」「特産品をつくる」「農地と環境を守る」に沿ってグループごとに活動を発表。報告を受けた杉岡村長は「活動を村民などへ広く知らせたい。村に関わっていただいている皆さんもふるさとの担い手、感性を大事にして意見を寄せてほしい」と伝えました。

## 8年生が凍み餅づくり 手作りの大変さを実感しました



一生懸命取り組んで作った凍み餅は、油で焼いて砂糖醤油で味付けをして美味しくいただきます

1月19日と26日、「いいいて希望の里学園」の8年生が、昔ながらの食文化を理解し、食文化の継承について考えを深めるため、2週にわたって凍み餅づくりを体験しました。1週目は材料を餅つき器でこねて型に入れるまでの工程を、2週目は切り分けた凍み餅をひもで編み上げ、吊るして自然乾燥させるまでの工程を行いました。

講師を務めた細杉今朝代さん(前田)と西尾ツネさん(二枚橋)は「大きくなってこの味を忘れないうでほしい」と優しいまなざしで話していました。

## 「飯館牛」ブランド復活へ 新たな一歩を踏み出しています



感染症拡大防止のため3会場に分かれて黙食で試食

2月17日、交流センター「ふれ愛館」で『飯館産牛肉商品開発試食会』が行われました。今回使用した牛肉は、福島大学と共同で行う「飯館牛再ブランド化プロジェクト」を通して村内で育てられた牛のお肉です。震災前から村と関わる(株)山際食彩工房(山際博美代表取締役/会津若松市)の「飯館産牛肉の商品開発をしたい」という要望が村の意向と合致し商品の試作に至りました。メニューは煮込みハンバーグや混ぜご飯など。「飯館牛」ブランド復活に向けた取り組みは、着実に始まっています。

## 水田活用の直接支払交付金 減額見直しの要望



国への要望を申し合わせました。左から青田さん、杉岡村長、佐藤村議会議長、佐藤さん、細川さん

2月4日、「JAふくしま未来」そうま地区稲作部会飯館支部の青田豊実さん(前田)、同そうま和牛改良組合飯館支部の佐藤豊洋さん(飯樋町)、13区営農組合の細川強さん(上飯樋)らが、村と村議会に要望書を提出しました。国の「水田活用の直接支払交付金」減額見直しの要望です。主食米から飼料用米に転換した人もある中「減額は生産者の意欲をそぐ」「今後の計画にも影響する」と危機感を訴えました。杉岡村長は、村としても国に見直しを求めていることを伝え、さらなる協力を約束しました。

## 「メルカリ寄付」ご支援に感謝 復興事業に活用していきます



「メルカリ」のユーザーがスマホ決済サービス「メルペイ」を活用して寄付できるシステムです

オンライン上でフリーマーケットのように個人間での売買ができる「フリマアプリ」の「メルカリ」では、ユーザーがメルペイ(メルカリの他全国の店舗等で利用できるスマホ決済サービス)から自治体に寄付できる「メルカリ寄付」を実施しています。飯館村も昨年10月からこの「メルカリ寄付」の対象自治体として登録されていて、10月から12月の3か月間で81件、合わせて約4万円の寄付をいただいています。全国の皆様のご支援、本当にありがとうございます。寄付は「飯館牛」復活プロジェクトに活用させていただきます。

## 内堀雅雄福島県知事が ライスセンターを視察しました



ライスセンターで連携と協力を誓い合う(左から)内堀知事、杉岡村長、川井センター長、濱田代表理事

2月8日、内堀雅雄福島県知事が飯館村を訪問。村役場で杉岡村長と意見交換を行い、「飯館村ライスセンター」を視察しました。視察には、杉岡村長と共に、JAふくしま未来の濱田賢次代表理事、川井智洋飯館営農センター長が同行し、出荷米の質をより高める選別の機能などを紹介。視察を終えた内堀知事は、「飯館村の復興は、途上ではあるが着実に進んでいる。農業再生への取り組みが連携して広がっていくことを期待します」と述べ、一同が協力を申し合わせました。



## はなれていても

菅野 大輝さん(比叡 福島県福島市在住)



福島市役所に勤務し、農政部で仕事をしています。震災は中学1年生の年度末。避難でそのまま会えなくなった同級生もいました。仮設の中学校では各務原市立中央中学校(岐阜県)と交流を深めたり、大切な言葉を全国から募る「日本人の忘れ物」プロジェクトを実行したり。個人でも「キッズフォトジャーナル」という活動に

参加し状況の発信に関わったりしました。村内の農地は荒れ、フレコンバッグやモニタリングポストが置かれて、当時は失ったものの大きさを感じていました。小学校の頃は下校前に校庭で野球やサッカーをして、家に帰ると祖父と釣りに行って、家には人が来て話をしていて、本当にお互い様の暮らしがあったと思います。都市



「震災後、自分の中では和みの場であり支えとなっていました」と言うよさこいチーム「いいたて愛」で今も大きな旗を振っています。

部では人がたくさん住んでいても、そもそも村のような関わり合いがないですよ。避難をして、その違いを実感しました。祖父母は「生まれた所が一番だ」と村に戻りました。家族もそれぞれ祖父母に会いに家に通っています。生まれ育った飯館村が、いつまでも私の「ふるさと」であってほしいと願っています。少しずつ復興が進んでいて、地区にも移住してきた人がいると聞きます。新しい村に生まれ変わってほしいという期待もあります。新たに村に住む方達にも「までの」の精神を受け継いでもらえたらうれしいです。

## 交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介します

交流センター「ふれ愛館」では、絵本や図鑑、小説や郷土資料など、様々な本の貸し出しを行っています。また、多くの皆さんにご利用をいただこうと、新刊や雑誌を含む図書の購入にも力を入れていきます。

幅広い世代に絶大な人気を誇るアニメの原作漫画「鬼滅の刃」「呪術廻戦」は「はたらく細胞!!」も間もなくラインアップに加わります。ぜひ一度、交流センターの図書コーナーをのぞいてみてくださいね。



本の貸出時間は平日の午前8時30分から午後5時までです。

問 交流センター「ふれ愛館」

☎0244(42)0072

## 話題のパレット

### 聴く人の心に響く民謡を



1月29日、『第43回NHK東北民謡コンクール福島県大会』が行われ、大賞部門で「相馬流れ山」を披露した新開茜衣梨さん(草野)が優秀賞を受賞しました。今回が5年ぶりの大会出場。「5年間民謡から離れて生活していましたが、民謡の良さや民謡が大好きな気持ちを改めて実感しました。今後も唄い続けていきたいです。」

### ご長寿記録を更新中!



2月2日、古川トミ子さん(伊丹沢)の106歳の誕生日を祝う会が、「いいたてホーム」で行われました。トミ子さんは大正5年2月3日生まれ。103歳から、村の最高齢を更新し続けています。100歳を迎えた時から毎年誕生日に着用している、自身が仕立てた大切な着物を着て、職員手作りのケーキを美味しく食べていました。

### 村民の野菜が学校給食に!



「いいたて希望の里学園」では村内産の新鮮な野菜を学校給食に利用しています。この日「学校給食センター」に白菜などを持参した目黒正光さん(伊丹沢)も提供者の1人。「私の野菜を食べて大物に育ってくれたらうれしいねえ」と楽しそうに話していました。野菜の提供方法など詳細は飯館村教育委員会 ☎0244-42-1631まで。

身近な話題をお寄せください  
☎0244-42-1613  
村づくり推進課企画係

### 6年生のオンライン英語交流



2月8日、6年生が外国語科の授業で、金山町立金山小学校、同立横田小学校とオンラインで交流しました。各校の児童が一人ずつ英語で思い出を発表、互いに質問もして英会話を楽しみました。大島輝琉さんは「会ったことのない人と交流できた」と、赤石澤永輝さんは「みんなの思い出を聞くのが楽しかった」と、新鮮な交流を満喫したようでした。



## 入札結果をお知らせします

入札日／12月24日(単位：円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
道の駅調整池土砂撤去及びセンター地区土捨場整地業務	3,190,000円	(有)福相建設	令和4年3月下旬
避難先情報管理システムサーバ機器更新業務	1,870,000円	(株)福島県中央計算センター	令和4年3月下旬
庁内LAN端末購入	4,125,000円	(株)福島県中央計算センター	令和4年3月下旬
飯館村移動通信用鉄塔施設KDDI用通信設備工事(前田地区)	13,475,000円	コスモシステム(株)	令和4年3月下旬
道路台帳整備(補正)業務委託	6,600,000円	(株)中庭測量コンサルタント福島営業所	令和4年3月下旬

入札日／1月7日(単位：円)

ふかや風の子広場大型遊具修繕工事	4,070,000円	関場建設(株)	令和4年3月下旬
あいの沢ポンプ場給水ポンプ修繕	1,317,800円	(有)長谷川電気工事	令和4年3月下旬
社会保障・番号制度に係る健康管理システム改修業務	1,331,000円	福味商事(株)	令和4年3月下旬
有害鳥獣減容化施設敷地造成設計業務(小宮字沼平地内)	6,160,000円	(有)御堂測量設計事務所	令和4年3月下旬
特別支援教室間仕切撤去等改修工事	4,730,000円	庄司建設工業(株)	令和4年3月下旬
牛乳保冷库購入	759,000円	タニコー(株) 東福島営業所	令和4年3月下旬

入札日／2月10日(単位：円)

電子会議システム導入業務	3,630,000円	(株)大一事務機	令和4年3月下旬
飯館村光ケーブル支障移転工事(白石字町地内)	1,155,000円	東日本電信電話(株)宮城事業部福島支店	令和4年3月下旬
児童手当システム改修業務	2,596,000円	(株)福島県中央計算センター	令和4年3月下旬
いいたて希望の里学園電子黒板購入	17,050,000円	(株)大一事務機	令和4年3月下旬



## お知らせ

### 飯館村10大ニュース紹介動画を公開中!

**あ** なたが選ぶ村のニュースベスト10」にたくさんのご応募ありがとうございます。ご応募いただいた。応募総数は514通となり、厳正なる集計に基づいて、**2021年(令和3年)飯館村10大ニュース**が決定しました。

2021年(令和3年)10大ニュースは、「広報いいたて」2月号の紙上で公表。また、動画配信サービスユーチューブの飯館村公式チャンネルでも、発表動画を公開しています。10大ニュースの各シーンで、昨年の1年間を振り返ってみませんか。動画の視聴は、左のQRコードから。もしくは「飯館村10大ニュース」で検索を。



### ●2021年(令和3年)を楽しく振り返ろう●

上の写真は、「飯館村地域防災センター」からお届けする発表動画のワンシーン。役場職員が司会を務めています。ぜひお楽しみください!



### ●お詫びと訂正●

昨年12月に全戸配付した10大ニュース募集チラシの選択項目12番に誤りがありました。お詫びして訂正します。  
誤) 訪問看護ステーション「ピュアート福島 飯館営業所」  
正) 訪問介護ステーション「ピュアート福島 飯館営業所」

### 2月の村の動きと主なできごと

「1月追記」

31日・第59回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)

「2月」

1日・第5回学校運営協議会(村役場)

2日・第60回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)

6日・スキー教室(あだたら高原スキー場)〈中止〉

8日・内堀雅雄福島県知事が来村(村役場・飯館村ライオンセンター)

12日・山口壮環境大臣 来村(長泥地区)

14日・申告相談(ビレッジハウス)

14日・福島県立医科大学との包括連携協定締結式(オンライン)

15日・第61回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)

17日・飯館産牛肉商品開発試食会(交流センター「ふれ愛館」)

18日・乳幼児健診(いちばん館)

●農業委員会定例総会(村役場)

20日・芸能発表会(交流センター「ふれ愛館」)〈中止〉

21日・第62回新型コロナウイルス感染症対策本部会議(村役場)

23日・24日・新型コロナウイルス集団接種(いちばん館)

24日・総合教育会議(村役場)

●定例教育委員会(村役場)

25日・いいたて希望の里学園6年生と村長によるタウンミーティング(オンライン)

●2歳6か月児歯科健康相談(いちばん館)

●第1回長泥地区除染作業検証委員会(村役場)

28日・3月議会定例会 開会(村議場)



村内のワクチン接種会場で奥様の手を取って案内する。高齢の男性の姿に微笑み、感謝し、二十歳のお二人が頼まれな意欲を持って新たな村の歴史を紡ぎ始めたことに感涙をおぼえた月でした。飯館産牛肉、あぶくまもちなどのふるさと産品もまた、皆さまの想いを受けて育ち始まっています。(杉岡村長)

**〈ふるさと資源〉発掘図鑑**


掲載についてなどお問い合わせは村づくり推進課企画係 ☎0244-42-1613までお気軽に。



旅行にもカメラを携え各地で撮影。スイスの名峰マッターホルンを写した見事な写真を役場に贈っていただきました。

写真が趣味の渡部さん。昨年秋から役場のカウンターにボランティアで季節の写真を飾っています。

写真に撮ると何気ない花の美しさが見えます。雑草の小さな花のかわいらしさに改めて気づいたのは避難をしてからです。咲き誇る桜の一輪一輪も愛おしい。写真を通して感じる事がたくさんありますね。




渡部功さん（草野）



草野地区に古民家が再建されました。元の建物は深谷地区にあった住宅で、工務店を営む高橋さんが、解体時から25年間保存していた柱や梁を使って再建しました。中には「安政6年4月20日」と刻まれた梁も。時代を飛び越え、再利用という形で活用が始まろうとしています。

村の活性化のため、たくさんの方に自由に使ってほしいです。展示室を設け、薪ストーブ、テーブル、椅子などを揃えています。3月中旬に説明会を開く予定です。(問い合わせは英工務店 ☎0244-42-0161まで)



高橋英明さん（上飯樋）

**誕生おめでとう**

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
高野実里ちゃん	尚重・香純	飯樋町



**ひとのうごき** (令和4年1月31日現在)

人口		1月1日～31日までの人口動態	
今月 (前月比)	転入 3人	◆◆人口動態◆◆	転出 8人
男 2503人 (-7)	出生 1人		死亡 7人
女 2482人 (-4)	死亡 7人		(住民基本台帳人口)
計 4985人 (-11)			
世帯数 1809戸 (-2)			

(1月21日から2月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

**おくやみ**

氏名	年齢	行政区
黒須 久美子	82	二枚橋・須萱
佐藤 博康	70	草野
横山 昭雄	92	前田・八和木
猪苗代 サヨ子	78	白石
齊藤 守夫	65	深谷

ご冥福をお祈り申し上げます

**地域おこし協力隊 いたてDIARY**

皆さん、お久しぶりです！  
 僕が飯館村に来てから、あっという間に1年が経っていました。それでも、寒さにはまだ慣れないですね(笑)  
 最近、旧コメリで春ごろオープン予定のカフェの準備を、松本奈々さん(深谷)と、矢野淳さん(佐須)としています！  
 つい先日、キッチンカーを見に行ったり、オリジナルブレンドの試作会も開き、いよいよオープンだなんて実感が湧いてきました！  
 まだまだ、詰めていかなくてはいけない部分がたくさんありますが、みなさんと共に素敵な空間にしていけたらと思っています。  
 近々、クラウドファンディングもスタートする予定ですので、皆様のご支援・ご声援お待ちしております！



今月のライター  
 飯館村地域おこし協力隊  
 松尾 洋輝 さん

**おいしい飯館！ままでの食卓**  
 生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！

**シイタケの巻**  
 夫の靖夫さんと二人三脚、農業に励んでいます。高野さんのシイタケは9月後半から4月頃まで道の駅でも購入できます。

**ビッグで肉厚でジューシー！**  
 ハウスの中に菌床を並べて栽培しています。大きく育てて出荷するので、大きさに驚いた人から「どうやって食べるんですか」と聞かれたこともあります。もちろん一般的なシイタケ料理に使えますが、肉厚でジューシーな特徴を生かして調理すると、より美味しく味わっていただけるかなと思います。

高野笑子さん (前田・八和木)

シイタケの柄の可食部を刻みひき肉やネギとよく練り薄く味を付けて肉詰めシイタケに。絶品ですよ～

厚めはスライスしても食感を楽しめます

肉厚シイタケステーキ風

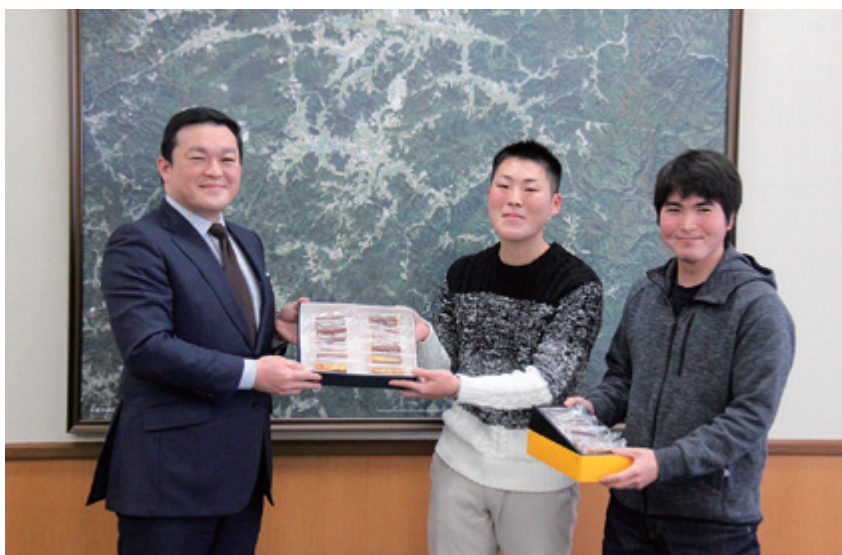
アツジの食感と言ふ人も！

Vースはお好みで。写真のVースは味噌マヨペース



# 新成人の2人がふるさとへの思いを込めて ヤーコンのレシピと村おこしの提案を村長へ

2月10日、福島県農業短期大学校野菜経営学科2年の佐藤雅彦さん(関根・松塚)と高橋岳史さん(上飯樋)が役場を訪れ、佐藤さんはヤーコンを使ったレシピ、高橋さんはふるさとへの提案を、杉岡村長に披露しました。震災当時小学3年生だった若者は今年成人を迎え、飯舘村の活性化を目指して挑戦を続けます。



震災前、長泥地区を中心に生産されていた「ヤーコン」。食物繊維が豊富で腸内環境にもやさしく、シャキシャキとした食感が特徴的な野菜です。佐藤さんはヤーコンケーキ以外にも多くのレシピを開発中で、ヤーコンの消費を拡大するため改善に努めたいと話します。また高橋さんは、「農業に育まれた20年と故郷を興しなおす60年」と題して、景観づくりやPR方法など幅広い観点から意見を述べ、いずれは村でアスパラガスを栽培したいという強い思いを語りました。



レシピを紹介する佐藤さん(右)と高橋さん



佐藤さんの自信作「ヤーコンケーキ」



●9月に取材に伺ったご夫婦に、別の取材で再会。「この前はとうもろこし」と笑顔で声をかけていただきました。日常会話の何気ないひとことでしたが、覚えていくださったことが本当に嬉しくて、広報に携わっているからこそ味わうことのできる、

人とのつながりを実感した瞬間でした。村の魅力を日々感じています。(菅野) ●福寿草が咲いていたと聞き勇んで出かけたのですが、数日前から真冬に逆戻りしていた村内…真っ白な雪景色の中に立ち尽くしたのでした…。(2日後の遭遇は歓喜でした！)(星)

## Native Speakers 第11回

ネイティブ・スピーカーズ 飯舘言葉の達人たち

第11回

なずきの  
てっちょに  
めめぐって  
めんこいな

その意味は...



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で!

飯舘村 YouTube